

東京 2020 大会延期に伴う IOC ステートメント（参考和訳）

IOC 理事会が東京 2020 年オリンピック大会のシナリオ計画を強化することに同意するため、安全衛生が最優先事項

関係者全員の健康を保護し、COVID-19 の封じ込めに貢献するため、国際オリンピック委員会（IOC）の理事会（EB）は本日、IOC が東京オリンピック 2020 のシナリオ計画を強化すると発表しました。

これらのシナリオは、2020 年 7 月 24 日に開催される大会の既存の運用計画の変更、および大会の開始日の変更に関するものです。このステップにより、世界および日本における健康状態の急速に変化する発展の可視性が向上します。それは、アスリートと関係者全員の利益のための最良の決定の基礎として役立ちます。

一方で、日本ではオリンピックの炎を人々が暖かく歓迎しているという著しい改善があります。これにより、IOC は、一定の安全制限があり、関係者全員の健康を保護するという原則を尊重しながら、オリンピックを開催できるという日本のホストに対する IOC の自信を強めることができます。

一方、異なる大陸の異なる国で、COVID-19 の症例と新たな発生が劇的に増加しています。これにより、EB は IOC がシナリオ計画の次のステップを踏む必要があるという結論に至りました。

大会に必要な多くの重要な会場は、もはや利用できなくなる可能性があります。すでにホテルで何百万もの夜が予約されている状況は、処理が非常に難しく、少なくとも 33 のオリンピックスポーツの国際スポーツカレンダーを調整する必要があります。これらは、非常に多くの課題のほんの一部です。

したがって、さまざまなシナリオをさらに検討するには、東京 2020 組織委員会と日本の当局、およびすべての国際連合（IF）と全国オリンピック委員会（NOC）の全面的なコミットメントと協力が必要です。また、オリンピック運動への継続的かつ価値ある支援の一環として、権利保持放送局（RHB）および当社のトップパートナースポンサーからのコミットメントおよびコラボレーション、ならびにすべてのゲームのパートナー、サプライヤーからの協力も

必要です。および請負業者。 IOC EB が本日、IOC のシナリオ計画の次のステップを開始したのは、オリンピックへのオリンピック関係者の共通のコミットメントの精神であり、世界的な悪化状況に照らしてです。

IOC は、東京 2020 組織委員会、日本当局、東京都との完全な調整とパートナーシップのもと、世界的な健康状態の急速な発展とオリンピックへの影響に関する評価を完了するための詳細な議論を開始します。延期のシナリオ。 IOC は、今後 4 週間以内にこれらの議論を完了すると確信しており、NOC と IF の連帯とパートナーシップがアスリートをサポートし、ゲームの計画を調整することを高く評価しています。

IOC EB は、東京 2020 オリンピック大会の中止は問題を解決したり、だれにも役立たないことを強調しました。したがって、キャンセルは議題ではありません。

EB ミーティングの後、IOC のトーマスバッハ大統領は本日、世界のアスリートコミュニティに手紙を送り、IOC のアプローチについて説明しました。

手紙の中で、バッハはウイルスに関与し貢献するすべての人の健康を守ることが基本的な原則であるともう一度述べ、次のように述べました。 IOC はソリューションの一部になりたいと考えています。したがって、関係者全員の健康を保護し、ウイルスの封じ込めに貢献することを主要な原則としました。5つの大陸すべてからの非常に多くのアスリート、NOC、IF が表明した希望が満たされることを願っています。つまり、オリンピックの炎はこのトンネルの終わりの光になるでしょう。